



宇宙特急便



旅の途中(創業にまつわる話あれこれ) ⑬

北京の入関トラブルは北京語の堪能な中国駐在経験者が国際電話で解決してくれた。受話器を握りしめラッパを吹くような勢いの(個人的にそう感じるくらい)言葉の応酬劇に営業所内は緊張した。海外での仕事経験は人を変える…。その国の言語と風俗習慣・政治事情等の理解の重要性を身に染みて感じた。その後も様々な局面で多才な人材に助けられる。会社は多くの新入社員に海外赴任や出張を経験させたいようだった。世界3大レースといわれるフランスのル・マン24時間耐久レースの緊急部品の調達責任者の選考時、入社1年目の社員が指名された。ル・マンに約半月、部品の手配に神経をすり減らす日々。現地社員のサポートがあったとはいえ失敗の許されないミッションに応えた意気揚々とした新入社員のガッツに目を見張った。気が付けば御年(おんとし)30代の中年期。当時ほどこもそうだったと思うが生え抜きと異なる肩身の狭さを感じながらの日々だった。



トラックの免許制度に思う。

せっかく若年者を採用したもののトラック運転免許取得の教習予約が教習所の都合で思うように取れず、ドライバー増員がタイムリーに行えないことがある。さらに免許取得後、個々会社で法定の座学研修を実施しなければならない。ドライバー職に就くまでの道のりの長さに、ドライバー職に就くことを諦め辞めていく若者もいると聞く。免許制度改正は交通安全対策のため…。目的はわかるが使い勝手が悪い。このままだと物を運ぶことで成り立っている日常生活に重大な影響が出る恐れもある。「角を矯めて牛を殺す」ことにならないといいが…。国の対策には「我々のやることに間違いはない」、「問題ない」等、強い自己肯定感と独りよがり傾向が目立つ。時代の移り変わりに応じた柔軟な感性と仕組作りがほしい。



誕生日おめでとう。

6日 M・S
9日 T・N
13日 T・S
15日 Y・S



二十四節気

8日立秋(りっしゅう)
秋の気配が感じられる

23日処暑(しよしょ)
暑さが収まってくる

日の出 5:05
日没 18:26

今月のひとこと

業界の声その② 細分化した免許制度によって、よほどの覚悟と興味がないと運送業界に足を踏み入れる機会は無くなったのではないかと。蛇口を締めてしまえばドライバーは不足するのは当たり前。一方入社後の安全運転教育は今までと違ってより厳格になってきていると思う。

